

日印研究・ラボは、インドと日本の高等教育機関の教育者と学生たちとともに、着実にインドの学生たちとのつながりを広く持つようになってきています。コロナ禍によるパンデミックによって、多くの分野においてインドと日本との交流を始めるために手を差し伸べる機会を与えられたと思っています。コンソーシアムメンバーを徐々に増やしなが、メディア、災害マネジメント、基礎健康、若者たちによるイノベーションにリサーチとアクション双方から取り組みなど、活動を広げています。三田キャンパスにて、ハイブリッド方式で第一回日印フォーラムを開催することが出来たことをお知らせ致します。2022年度の年次報告は以下のとおりです。



「ジャパン・コーリング（日本からのコール）」 日本留学に向けた教育セミナー

インドの学生向けに、2022年5月に三日間にわたり、日本留学についての無料オンラインセミナー「ジャパン・コーリング（日本からのコール）」が実施されました。900名の学生が参加しました。在デリー日本大使館、国立開発研究法人科学技術振興機構（JST）と日本語センター（ニューデリー）の協力のもと、日印研究・ラボ、IJBC、Sakar Foundation（マハラシュトラ州のメディアハウス）が実施しました。日本にいるインド人学生の証言もライブで提供されました。詳しくはこちら: <https://indiajapanlab.org/activities/593/>

日印研究・ラボとインド科学技術大学院大学共催 「科学技術イノベーションと人間」ロゴのコンペ

科学技術、イノベーションと人間をテーマにしたフォーラムを慶應技術大学日印研究・ラボとインド科学技術大学院大学バンガロール校社会政策センターが共催するに向けて、ロゴコンペを2023年2月に始めました。286件の応募があり、2023年5月にはファイナリスト選考予定です。

INDO JAPAN S&T FORUM のウェブサイトはこちら:

<https://csp.iisc.ac.in/indo-japan-st-forum/>



参加イベント

プネ Konnichiwa Pune 2022:

<https://indiajapanlab.org/announcement/965/>

ムンバイ NEDO-IIT Bombay

Seminar 2023:

<https://indiajapanlab.org/activities/1164/>

デリー Guru Govind Singh

Indraprastha Universityにて日本語証書コース開設式典に出席:

<https://indiajapanlab.org/activities/1138/>

チェンナイ 教育における多様性

について国際パネルディスカッション（オンライン）:

<https://indiajapanlab.org/activities/1120/>



IJBC-IJL レクチャーシリーズ（隔月）

最初の合同プロジェクトとして、外交、テクノロジー、イノベーション、開発への視点、災害マネジメント、ヨガ、音楽などのテーマについて、隔月にてレクチャーシリーズを開催。

詳細はこちら: <https://indiajapanlab.org/activities/1064/>

トークショー



今後の日印関係とビジネスについての展望について、日印間で事業を行っている4社のビジネスリーダーをお招きしたトークショーでヌプール・テワリさんと語っていただきました。録画: <https://indiajapanlab.org/activities/630/>



講演・講義@SFCキャンパス

●2022年度後期授業：日印アカデミア交流強化のためインド三大学より教員を招聘

- ①国立ジャワハルラー・ネルー大学：スラバニ・ロイ・チョウドリー教授
- ②北東インドのアッサム州のインド工科大学グワハティ校：スディープ・ミトラ教授
- ③南インドのインド科学大学院大学ベンガルール校：アンジュラ・グルトゥー教授



●インド経営大学 コージーコーデ校：
デーバシース・チャテルジー学長講演。
スズキイノベーションセンター関係者出席。



●毎年春学期に実施している通称「インドクラス」 Culture, Environment and Technology of India の認知度高まる。



●インド工科大学ルールキー校：調査団がSFCを訪問。
博士課程及び修士課程の学生向けに研究内容を発表。

●コンソーシアムメンバーによる講義@SFC：
横河電機の船生幸宏氏（横河電機株式会社常務執行役員、
本学卒業生）がYOKOGAWAのDX戦略について特別講義。



●Onagawa KIZUNA プロジェクト
2011年の東北大震災後にインド政府から女川町に派遣された
インド災害対応部隊（National Disaster Response Force: NDRF）
を組織したインド行政官吏職のスジャータ・サウニク行政官と
隊長のアローク・アワスティ氏が特別講義。



インドの大学のオンライン企画

●JNU FORUM:

日印国交樹立70周年を記念して、ジャワハルラー・
ネルー大学国際関係学科東アジアセンター日本研究
主任のスラバニ・ロイ・チョウドリー教授が企画。



●Critical Writing Workshop :

South Asia Alliance of Disaster Research
Institutes (SAADRI) およびインド工科大学
ルールキー校と日印研究・ラボ共催。博
士及び修士の学生向けに論文執筆について
ポイントを教授（2022年12月13日）。



インターンシップ

楽天

Rakuten

TCS

tcs TATA
CONSULTANCY
SERVICES

日印研究・ラボの日本国内の動き

- 2022年9月：インド政府科学技術省科学技術省（Department of Science and Technology: DST）より公式代表団来訪。ショウ ラジブ教授、ラニット・チャテルジー訪問准教授、武鏗行雄上席所員、川根友上席所員と日印交流について意見交換。
- 2022年11月：スズキ本社およびハイデラバードのSuzuki Innovation Center 関係者来訪。SFCにてインド経営大学コージーコーデ校学長講演。
- 2023年1月：日印協会表敬訪問。第9代目会長菅義偉元総理に120周年記念式典の場で、ショウ教授、武鏗上席所員、川根上席所員からご挨拶。
- 2023年2月：インド災害対応部隊サウニク行政官とアワスティ隊長と、ショウ教授、國枝美佳助教が女川町再訪。



インド国内高等教育・研究機関訪問先



●インド工科大学グワハティ校災害マネジメント研究センター

2022年6月：JICA、慶應義塾大学日印研究・ラボ、北東インド4州の災害管理局関係者を招き、災害マネジメントのためのコンサルテーション会議。ショウ教授、川根出席。T.G.シタラム学長と災害マネジメント研究センター（CDMR）のスティープ・ミトラ教授をはじめとする教授陣と災害マネジメント案件準備を討議。

2022年11月：ショウ教授、加藤亜希子講師再訪、学生に講義。



●インド経営大学カルカッタ校

2022年6月：ダイレクターのウッタムクマール・サルカル教授および同校イノベーション・パーク関係者と討議。ショウ教授、川根が訪問。



●インド工科大学ルールキー校

2022年6月：都市と農村の連続体に及ぼす経済的および環境的影響を分析する日印プロジェクトにて、インド工科大学ルールキー校、公益財団法人地球環境戦略研究機関、および慶應義塾大学が、コロナ禍の都市から農村への逆移動研究のワークショップを開催。ショウ教授が参加。インドのインド社会科学研究評議会（ICSSR）と日本学術振興会（JSPS）からの支援を受けた二国間共同研究。ハリドワールと神奈川県が研究拠点。



●インド科学大学院大学ベンガルール校：

2022年8月：Centre for Society and Policyをショウ教授、川根が訪問。



●IITデリー校

2022年11月：ショウ教授が訪問。



●Guru Govind Singh Indraprastha University：

2022年2月：日本語コース除幕式（2023年2月23日）。川根が昨年よりガイダンス提供。



●IITボンベイ校

2023年2月：NEDO-IITBセミナーに川根が参加。



●マドラス大学

2022年3月
IJLとMOU締結

●ジャワハルラー・ネルー大学

2022年3月、11月



プネで訪問した大学（2022年3月）

- Savitribai Phule Pune University
- MIT-World Peace University
- IISER Pune
- Symbiosis International (Deemed University)



●National Maritime Foundation（デリー）

2022年11月：Indo-Pacific Regional Dialogue 2022 (IPRD)にてショウ教授講演。

【ヨーロッパ】英国ハダースフィールド大学
グローバル災害レジリエンスセンターと
災害リスク研究合同セミナー(博士課程学生対象)

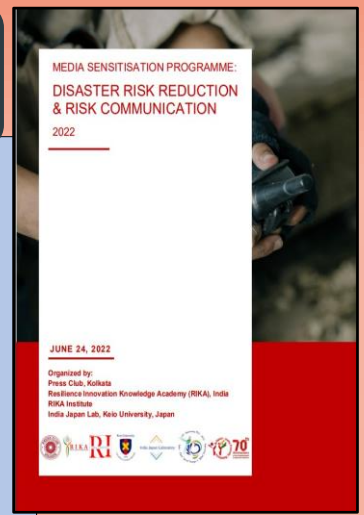


英国：ハダースフィールド大学グローバル災害レジリエンスセンター（GDRC）と博士課程の学生による災害リスク研究合同セミナー共催（第一回目：2023年2月1日）。ショウ教授基調講演、アーリヤニンシー（政メ）が発表。川根がコーディネート。

災害リスク軽減とリスク・コミュニケーション についてのメディア啓発プログラム

コルカタで開催された、パンデミック以来、私たちにとって最初のメジャーな公開プログラムです。これは、メディア関係者向け災害報道について行われた、初めての啓発プログラムであり、ジャーナリストたち、そして、ジャーナリズムに関わる実務者および教育者たち90名が参加しました。在コルカタ日本国総領事の立会いのもとにコルカタ・プレス・クラブにて開催されました。

報告書はこちらから：https://indiajapanlab.org/wp/j/wp-content/uploads/2022/07/Media-Sensitisation-Programme_Disaster-Risk-Reduction-Communication-2022_240622.pdf



第一回日印フォーラム

日印国交樹立70周年を記念して、第一回日印フォーラムをハイブリッド形式で、三田キャンパスにて開催しました。ユースフォーラムのメンバー、エキスパート、教育者、政府関係者、日印研究・ラボのコンソーシアム・メンバーである産業界のリーダーの方々が、日印を繋ぐ重要な様々なテーマについて発表しました。本学からは様々なキャンパスより、塾生が参加致しました。

報告書はこちらから：<https://indiajapanlab.org/wp/j/wp-content/uploads/2022/11/India-Japan-Forum-2022-Report.pdf>



QUAD 協力関係と海洋資源

本報告書は、海洋鉱物資源についての国家的および国際的な課題を取り扱っています。化石燃料ベースの経済から低炭素の持続可能な経済へ移行するカギは、再生エネルギーのサプライチェーンです。鉱物資源の需要増加により、将来的に海洋鉱物資源が搾取される可能性を考慮したうえで、環境的に持続可能な海底採掘の重要性を説くことが大切です。

報告書はこちらから：https://indiajapanlab.org/wp/j/wp-content/uploads/2022/11/QUAD-Policy-Note-Final_16-Nov-docx.pdf



アッサムにおける健康災害のレジリエンス

日印研究・ラボにとって北東インドにおける最初のプロジェクトは、アッサム州における健康被害のレジリエンスについて研究することでした。インド政府のナショナル・ヘルス・ミッションからの要請により、2022年8月に、アッサム州ボンガイガオン県が大規模な洪水によって影響を受けた後すぐに実施致しました。

報告書はこちらから：https://indiajapanlab.org/wp/j/wp-content/uploads/2022/11/HDRA_NHM-Assam.pdf

